調査対象:参加者(42人 学生36名、職員6名) 調査方法:講演会終了後、教室にて回収 有効回答数:39件 回答率:92.9%

1.参加者の属性について

性別

	性別	人数	%
1	男性	31	79.5%
2	女性	8	20.5%
3	未記入	0	0.0%
	総計	39	100.0%



64.1%

∽	ᆂᄉ
E	実ら
_	121 <

	回答	人数	%
1	10代	25	64.1%
2	20代	11	28.2%
3	30代	0	0.0%
4	40代	1	2.6%
5	50代	0	0.0%
6	60代	2	5.1%
7	70代以上	0	0.0%
8	未記入	0	0.0%
総計		39	100.0%

2.参加者の属性について

職業

	回答	人数	%
1	会社員	0	0.0%
2	研究者	0	0.0%
3	教育関係者	1	2.6%
4	自営業	0	0.0%
5	パート、アルバイト	1	2.6%
6	主婦	0	0.0%
7	学生	36	92.3%
8	行政関係者	0	0.0%
9	無職	1	2.6%
10	その他	0	0.0%
11	未記入	0	0.0%
総計		39	100.0%



3.本講演会についてお答えください。

(1)全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	17	43.6%
2	有意義であった	18	46.2%
3	普通	1	2.6%
4	あまり有意義ではなかった	1	2.6%
5	全〈有意義でなかった	0	0.0%
6	未記入	2	5.1%
総計		39	100.0%



(2)本講演で有用な知識が得られましたか?

	回答	人数	%
1	得られた	38	97.4%
2	得られなかった	0	0.0%
3	未記入	1	2.6%
総計		39	100.0%



(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、 本講演で得られた知識を今後の仕事や地域での活動などに生かそうと思いますか?

	回答	人数	%
1	生かそうと思う	21	53.8%
2	難しいと思う	6	15.4%
3	分からない	10	25.6%
4	未記入	2	5.1%
総計		39	100.0%



4.今回の講義で新に学んだ(知った)こと

 2000年以前の裁判では、被害者に最低限の情報すらおしえてもらえなかった。 事件によって被害者より加害者の方が丁寧にあつかわれた。 日本の法律が被害者の事を全く考えていないことはわかっていたつもりだったが、ここまでひどいとは知らなかった。 被害者はいつまでも被害者であり、やっぱり事件が起きて知らされた直後は理解、納得いかなく逃避してしまうんだと改めて感じた。 裁判は被害者のためにあるものではない。 犯罪にあって亡くなった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。 解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 裁判では、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 経営者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 被害者によって必定者にひとい態度をとる事 裁判では、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 (初ずむとさるた払って引き取りに行かれていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 ・ごういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・ごういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・認罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすずく身近に感じました。 ・読判官は抜害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪き、改めて命の大切さを学びました。 ・読書者の方々の今、現在に置かれている状況の悪き、改めて命の大切さを学びました。 ・皆の割判は、被害者の主張ができようになったこと。自う自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・う回の講義で犯罪報波害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それいていたたいことを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やの家族に対する配慮がないこと聞いていたべ、具体的なことは今回が初めてだった。戦害者の応えるではないと低いた。 ・彼害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・後害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・後害者に対したの国の制度の矛盾を知りました。 ・後害者に対したのにもののではないということ、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・後害者のためにあるのではないということ、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・後害者の近ちない、頭の中が違っ自たので、話を聞いてたれることが大切だと思った。 ・後古名のなどさんのではないということ、での入形劇でわかりました。 ・その罰判に確認するのではないということ、なっなかわかられた。 ・その罰はなってな言者の意見など、この人形劇でわかりました。 ・その罰はないたでたきに見いたいたちょうれるのではないということ、 ・その罰れたですが知りたた。 ・その罰れたでを下しなうたいがた。 ・その裁判になったのたたのではなったのかかかた。 ・その罰い方が被害者に対していた。 ・その気がたてたちょうのでではないということ、 ・その割したができた。 ・その罰したできまるのではないというった。 ・その気がためたいがかった。 ・その気がなってな害者の意見など、この人があったりがなたるたいためなかなかがた。 ・その知らがが認定者に行わないた。 ・その気がなると思いたいたここと、 ・その前にないたでを下しないためたいたいたいたちょうのではないといた。 ・その気がなるのでになったいがなったいがかった。 ・その報告がないたいたいたいたいたのではないたいたいたいたいたいたいたいためたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたい	回答
 ・日本の法律が被害者の事を全く考えていないことはわかっていたつもりだったが、ここまでひどいとは知らなかった。 ・被害者はいつまでも被害者であり、やっぱり事件が起きて知らされた直後は理解、納得いかなく逃避してしまうんだと改めて感じた。 ・裁判は被害者のためにあるものではない。 ・裁判は被害者のためにあるものではない。 ・裁判にあって亡くなった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。 ・解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 ・裁判にいうのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 ・ごういう被害はいうんなところで起っているのを知りました。 ・認判にしろんなところで起っているのを知りました。 ・認判にはのあるののこと言うこと。 ・我判定は被害者の飲ひようにもなるのだと言うこと。 ・我判応では被害者ののようにもなるのだと言うこと。 ・我判所では被害者ののとなくなにもしてくれない事を知りました。 ・認知被害者の方とな今、現在に置かれている状況の悪さ、改めて命の大切さを学びました。 ・皆の裁判は、被害者の主張がつう通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の方とな今、現在に置かれている状況の悪さ、なめて命の大切さを学びました。 ・昔の裁判は、被害者の主張がつう通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の方となった。 ・う回の講義を聞く前からないと思った。 ・今回の講義を記していたということを知りました。 ・今回の講義を記していたということを知りました。 ・今回の講義を記していたということを知りました。 ・今回の講義を記していたということを知りました。 ・今回の講義を記していたということを知りました。 ・今回の講義を記していたということを知りました。 ・今回の講義を記してのになったということを知りました。 ・今回の講義を記した。 ・後書者に対していたとがたびまるないたいところしたしいしていたが、見体的なことは今回が初めてたった。 ・教判は被害者のためにあるのではないということ、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・参報告に対して回る制度の矛盾を知りました。 ・後書者のためにあるのではないということ、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り入されてきた事は初めて知った。 ・母の司法のあり方が被害者に対して非常に冷さいと言うとがたかった。 ・日かの知らない所ですごく複雑なことが起こうこところいたのかわかった。 ・日かの知らないいですごく複雑なことが起こうでいたこと言うことがわかった。 ・日本の司よないいのは思いれまで、 ・日本の司よないいですごく復報なってはたとこと言うとがわかった。 ・日本の司よないいのは思いい事にた。 ・日本の司よないがですべて、ことがたいった。 ・日本の司よないいのは思いいてまたにと言うことがわかった。 ・日本の司よないいのは思いい事にたっていきたいたこと言うことがわかった。 ・日本の司よるのではないためためかわかった。 ・日本の司ないいのは思いで、 ・日本の司よるのではないいのたここうで、この人がわかった。 ・日本の司よるのではないいのたここうでないたでのでかわかった。 ・日本の司よるのではないたいたいたいと言うことがわかった。 ・日本の司ないのでするのではないと言うことがわかった。 ・日本ののはののうろのではた。 ・日本の司ないのでするのではないたのでがった。 ・日本の司ないのでするのではないたいのがわかった。 ・日本の司ないのでするのではな	・2000年以前の裁判では、被害者に最低限の情報すらおしえてもらえなかった。
なかった。 ・・被害者はいつまでも被害者であり、やっぱり事件が起きて知らされた直後は理解、納得いかなく逃避してしまうんだと改めて感じた。 ・・被害者はいつまでも被害者であり、やっぱり事件が起きて知らされた直後は理解、納得いかなく逃避してしまうんだと改めて感じた。 ・・裁判にあって亡くなった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。 ・解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 ・・裁判では、被害者のご族の言葉が全く届かないとだめやったことと裁判所の実態。 ・・裁判には、被害者のご族の言葉が全く届かないやったっとと裁判所の実態。 ・・裁判には、被害者のご族の言葉が全く届かないやなったっとく裁判所の実態。 ・・裁判には、彼害者のごなして行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか 見直すべきところはあると思った。 ・・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・・記罪は、くごとたと思ったいたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。日本の裁判はどこか 見直すべきところはあると思った。 ・・こういう被害者にしろんなところで起こっているのを知りました。 ・・認罪にはなったした。 ・・説判所では被害者ののたけさくがない事を知りました。 ・・説判にては被害者ののたけさくなるのたど言うこと。 ・・説判にては被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・・認罪被害者にあるの大切さを学びました。 ・・説判にては被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・・認罪被害者の主張ができるようになったどき、自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で昭く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回 が初めてたった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言わ れるのには驚きした。 ・・教習者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・・教習者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・・表判は被害者のためにあるのではないということ、被害者創が莫大なお金を支払わなければならないということ ・・、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・・後害者に対しての国の制度の少な。そのの大切さたついて知った。 思ったれでは愛があって被害者の意見など、あまり取り入れてもちえない事は知っていたが、それが取りかされてきた事は初めて知った。 ・・後害者の意見など、この人形劇でわかりました。 ・・自分の知らが被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・・つの治なのり方が被害者に対して非常にながなかわるかかかった。 ・	・事件によって被害者より加害者の方が丁寧にあつかわれた。
 ・被害者はいつまでも被害者であり、やっぱり事件が起きて知らされた直後は理解、納得いかなく逃避してしまうんだとなめて感じた。 ・観判は被害者のためにあるものではない。 ・犯罪にあって亡くなった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。 ・解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 ・裁判所がこまで被害者にひどい態度をとる事 ・裁判には、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 ・被害者には、することがあまりないこと。 ・裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 ・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・裁判官は被害者ののの大切さをびました。 ・裁判官は被害者のの成功さともなるのだと言うこと。 ・裁判官は被害者ののことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・裁判官は被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・認罪被害者のうとは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・裁判官は被害者ののことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・数書者の違族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてるたっていたけど、今は大騎的などと思った。 ・方の調抜びできるようになったこと。自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・すの回該義な思れていれたがことを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する記慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する記慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてたっ、裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う、けれど遺族のことなかなかなのな犯人が逮捕されないの内は悲しい事だと思います。 ・検害者のためにあるのではないということ、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・検害者のためにあるのではないということ、彼害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・検討用で被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取りかされてきた事は初めて知った。 ・使者の意見など、この人形動でわりました。 ・使者の立場たはないのはないですごく接近なって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない書は知っていたが、それが取り入れてもらえないきないとなかなかな犯人が逮捕された。 ・使者の立場たの立ちを下さといこつていて知った。 ・使者の立ちを下さといこうでのでいたこと、 ・使者の立ちを下さといのですごく接近なってなるでのたい手ですごくになったいます。 ・使者の立場になっていまっこうことがわかった。 ・日のついの方ですごく接近ないののがあっていまた。 ・日本のついの方ですごくをいた。 ・使者の立ちを下さなこっているのかわかった。 ・日本の立ちを下さなこっているのかわかった。 ・日本の立ちを下さなこっているのかわかった。 ・日本の立ちを下さなこうでいたがかった。 ・日本の立ちを下さなこっているのかわかった。 ・日本の立ちを下さいたののでがわかった。 ・日本の立ちを下さなこっているのかわかった。 ・日本の立ちを下さなこうのでがあるのがわかった。<	・日本の法律が被害者の事を全〈考えていないことはわかっていたつもりだったが、ここまでひどいとは知ら
しまうんだと改めて感じた。 - 載判は被害者のためにあるものではない。 - 犯罪にあって亡くなった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。 - 解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 - 裁判所がここまで被害者にひどい態度をとる事	なかった。
 ・裁判は被害者のためにあるものではない。 ・犯罪にあって亡くなった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。 ・解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 ・裁判所がこまで被害者にひどい態度をとる事 ・裁判には、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 ・被害者には、することがあまりないこと。 ・裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 ・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・説判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・我判官は被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・設罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・後書者通道族は悲しいのに、マスコミはしつく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・首の裁判は、被害者の主張ができるようになったこと。 ・自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・うつの講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてたった。 ・今回の講義で加手被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講表を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めたたった。 ・参容裁判じ被害者の応には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない書は知っていたが、それが取り外されてきを事は初めて知った。 ・後害者に改せのではないということ、被害者の側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・物で書もの応には感の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・後害者の近くなったり、頭の中が真っ白になってしようことがわかった。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりいた。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりでしまうことが大切がたと思った。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりでした。 	·被害者はいつまでも被害者であり、やっぱり事件が起きて知らされた直後は理解、納得いかな〈逃避して
 犯罪にあって亡くなった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。 解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 裁判所がここまで被害者にひどい態度をとる事 裁判では、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 被害者には、することがあまりないこと。 裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところばあると思った。 こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 裁判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 えたれた遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ジル罪は、人ごとだく思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 *裁判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 *残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 *数率都の責要なの今、現在に置かれている状況の悪き。改めて命の大切さを学びました。 *数率載者の方々の今、現在に置かれている状況の悪き。改めて命の大切さを学びました。 *被害者の方々の今、現在に置かれている状況の思さ。改めて命の大切さを思いました。 *もの満慮の方々の今、現在に置かれている状況の思さ。たっしいと思うけど残酷だと思いました。 *もの方を認たすかうになったこと。自分自身がいつ被害者になるわわからないと思った。 *して、自分も家族もも分に気もてくけるションを思わされた。 *今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 *今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 *今回の講教で知道さた。 *今回の講教で知らな害者やその家族に対する記慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めただった。 *今回の講を回ためにあるのではないということ、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 *教判は被害たのためでするのではないということ、あまり取り入れてもらえない書れついた。 ************************************	しまうんだと改めて感じた。
 解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。 裁判所がここまで被害者にひどい態度をとる事 裁判には、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 被害者には、することがあまりないこと。 裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 挑判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・我判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪き。改めて命の大切さを学びました。 ・被罪者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正いいと思うけど残酷だと思いました。 ・者で裁判に、被害者の主張ができるようになったこと。 自分も家族も十分に気を付ける必要があると思わされた。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する記慮がないと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・今害で裁判で被害者の席には堅があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・後害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ自になってしまうことがわかった。 ・つの命を失ったこそで人生が媒になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・後害者の知らができた。この人形象でわかりました。 ・う方の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・つの命を失ったこそで人生が媒になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・後害者は被害を受けている個なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳いい 	・裁判は被害者のためにあるものではない。
 ・裁判所がここまで被害者にひどい態度をとる事 ・裁判では、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 ・被害者には、することがあまりないこと。 ・裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見 し言すべきところはあると思った。 ・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・説判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 ・浅された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さくなにもしてくれない事を知りました。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さくなにもしてくれない事を知りました。 ・残害者の道族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・様害者の道族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・皆の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で犯罪被害者に与られるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けてなり、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を間、前から被害者やその家族に対する配慮がないと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてたった。裁判は確かに公平に行わなければならないと聞いていたが、真体的なことは今回が初めったた。 ・今回の講真を間、前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてたった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのではたがしいうこと、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今素で裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者の立場になったも思います。 ・被害者の応じたる。頭の中が真っ自になってしまうとがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が親になったりしてしまうで、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・検害者は被害を受けているのなとても厳しい 	・犯罪にあって亡〈なった被害者は、遺族がどんなに反対しても司法解剖されることが分かった。
 ・裁判では、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。 ・被害者には、することがあまりないこと。 ・裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 ・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・我判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・地撃害者のうなの今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・被害者の道族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・皆の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 ・分官の講義で犯罪被害者に気を付ける必要があると思わされた。 ・今回の講義を認く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確から公室者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてた。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないと私思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・教書れつたのもにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取りかされてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者になったり近くまうことがたかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・つのの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてのずろのでものしいのでとても厳しい 	・解剖がすむとお金を払って引き取りに行かないとだめやったことと裁判所の実態。
 被害者には、することがあまりないこと。 裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 親判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 *認罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 *犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 *被罪者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 *被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 *被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 *被害者の主張ができるようになったこと。自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 *回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 *今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 *今回の講義で間く前から被害者やの家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 *被害者のためにあるのではないということ、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ************************************	・裁判所がここまで被害者にひどい態度をとる事
 ・裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか見直すべきところはあると思った。 ・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・裁判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・我判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・诸の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、よるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・教判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・参表で裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者の遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者のつ場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・の方の取り方が被害者に対してマボに冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・の方の取り方が被害ないりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	・裁判では、被害者の家族の言葉が全く届かない辛さというものを知った。
見直すべきところはあると思った。 ・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・裁判官は被害者の敵のようにちなるのだと言うこと。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・裁判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・地瘻害者の道族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・指の裁判は、被害者の主張ができるようになったこと。自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・付まの裁判は、被害者の主張ができるようになったこと。自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 そして、自分も家族も十分に気を付ける必要があると思わされた。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ自になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったい対応があったり被害を受けている側なのに、意外におそんの対応があったり被害を受けているののないので、ころに対応ですてくもあしいののたののなのかだ。	・被害者には、することがあまりないこと。
 ・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・裁判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・裁判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者のうたの今、現在に置かれている状況の悪き。改めて命の大切さを学びました。 ・犯罪被害者のうなの今、現在に置かれている状況の悪き。改めて命の大切さを学びました。 ・犯罪被害者の道族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の自義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義で罰前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・被害者のためにあるのではないということ、被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・被害者のの席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者の道族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったち、頭の中が真っ自になってしまうことがわかった。 ・一つの命を失っことで人生が嫌になったののがわかった。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったのがたかかであったり被害を受けているのをとす差しの 	・裁判というのが、どういった形で行われていたのか思っていたものとは違いました。日本の裁判はどこか
 ・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすごく身近に感じました。 ・裁判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・裁判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 ・台のの講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてたった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・後国の制度の矛盾を知りました。 ・後書者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・後書者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・彼害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 	見直すべきところはあると思った。
 ・裁判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・裁判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・参まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・使害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている例なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	・こういう被害はいろんなところで起こっているのを知りました。
 ・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。 ・裁判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・犯罪被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・参まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	・犯罪は、人ごとだと思っていたけど、伊藤さんの話を聞いてすご〈身近に感じました。
 ・裁判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪き。改めて命の大切さを学びました。 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪き。改めて命の大切さを学びました。 ・者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・砂害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	・裁判官は被害者の敵のようにもなるのだと言うこと。
 ・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。 ・被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 そして、自分も家族も十分に気を付ける必要があると思わされた。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞(前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・検害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとちも厳しい 	・残された遺族の気持ちと命の大切さを学びました。
 ・被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこく事情を聞いてくる。正しいと思うけど残酷だと思いました。 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなが犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとち厳しい 	・裁判所では被害者のことは全くなにもしてくれない事を知りました。
 ・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害ををするたろのではないれてきたののではないののです。 	・犯罪被害者の方々の今、現在に置かれている状況の悪さ。改めて命の大切さを学びました。
の言葉で被害者の主張ができるようになったこと。 自分自身がいつ被害者になるかわからないと思った。 そして、自分も家族も十分に気を付ける必要があると思わされた。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けて おり、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回 が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言わ れるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないとい うこと。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていた が、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかな か犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。	·被害者の遺族は悲しいのに、マスコミはしつこ〈事情を聞いて〈る。正しいと思うけど残酷だと思いました。
そして、自分も家族も十分に気を付ける必要があると思わされた。 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けて おり、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回 が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言わ れるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないとい うこと。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていた が、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかな か犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている例なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい	・昔の裁判は、被害者の主張が一つも通らずに、まるで被害者の敵になっていたけど、今は大勢の被害者
 ・今回の講義で犯罪被害者に与えられるべき当然の権利や情報が与えられず、迫害に近い扱いを受けており、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・受まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	
おり、それが近年まで続いていたということを知りました。 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回 が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言わ れるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないとい うこと。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていた が、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかな か犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい	
 ・今回の講義を聞く前から被害者やその家族に対する配慮がないこと聞いていたが、具体的なことは今回が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	
が初めてだった。裁判は確かに公平に行わなければならないと私も思う。けれど遺族のことを傍聴人と言われるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい	
れるのには驚きました。 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていた が、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかな か犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい	
 ・被害者に対しての国の制度の矛盾を知りました。 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	
 ・裁判は被害者のためにあるのではないということ。被害者側が莫大なお金を支払わなければならないということ。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	
 うこと。 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	
 ・今まで裁判で被害者の席には壁があって被害者の意見など、あまり取り入れてもらえない事は知っていたが、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかなか犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	
が、それが取り外されてきた事は初めて知った。 ・被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。懸賞金を被害者が出さないとなかな か犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい	
か犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい	
か犯人が逮捕されないのは悲しい事実だと思います。 ・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい	·被害者に渡される遺族給付金の少なさ、命の大切さについて知った。 懸賞金を被害者が出さないとなかな
 ・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。 ・自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 ・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	
 自分の知らない所ですごく複雑なことが起こっているのがわかった。 一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	・被害者の立場になったら、頭の中が真っ白になってしまうことがわかった。
 一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。 被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	・日本の司法のあり方が被害者に対して非常に冷たいと言うことが、この人形劇でわかりました。
 ・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい 	・自分の知らない所ですご〈複雑なことが起こっているのがわかった。
	・一つの命を失ったことで人生が嫌になったりしてしまうので、話を聞いてあげることが大切だと思った。
	・被害者は被害を受けている側なのに、意外にも冷たい対応があったり被害を受けているのをとても厳しい
・被害者も法廷に参加できることを今回知りました。	·被害者も法廷に参加できることを今回知りました。
・裁判官や弁護人は必ずしも被害者の味方ではない。裁判は被害者のために行われているのではない。	·裁判官や弁護人は必ずしも被害者の味方ではない。裁判は被害者のために行われているのではない。
・加害者 > 被害者 という形式でしか裁判が行われないことは知っていたが、それ以上に奥深く聞いている	・加害者 > 被害者 という形式でしか裁判が行われないことは知っていたが、それ以上に奥深く聞いている
と日本の司法の腐りがよく分かった。	と日本の司法の腐りがよく分かった。
・裁判は正しいことを言って〈れない。	・裁判は正しいことを言って〈れない。
·被害者は一人ですまず、家族にも被害がでてきて家族崩壊をおこす可能性があるということ。	・被害者は一人ですまず、家族にも被害がでてきて家族崩壊をおこす可能性があるということ。

5. 犯罪被害者等について

(1)犯罪被害者の現状について、どう思いますか?

回答 ・興味本位のマスコミ関係の情報が先行し、被害者の悲痛な心情を逆なでしていることや人の痛みを理解 できない世情が蔓延していることが悲しい。まず経済的セーフティネットの必要性。 ・現状の厳しさを初めて知りました。特に精神的な痛みは、経験者でないと理解しにくい。 ・日本の警察や司法制度の不備により振り回されてしまう。二次的被害の精神的な痛みはニュースでは伝 えきれていない。マスコミ自身が加害者に回っていることを世間に気づかれないように報道していると気づ いた。 ・一番辛いのは被害者なのに被害者が一番粗末にあつかわれていることに驚いた。 ・ものすご〈ひどい扱いをされていて辛〈思った。 日本はもうちょっと被害者の事を考えるべきだと思う。 ・考えられていたり、そうではなかったりだと思います。残された家族の想いを全てくみ取れてないのが現状 だと思います。 ・被害者が嫌な想いをする事ばかりの現状はなんとかするべきだと思う。 ・被害者が納得いく司法ではないことが分かった。 ・おかしいと思います。家族を亡くしただけでも辛いことなのに、なんでこんなにも被害者が苦労するのかと 思いました。 ・昔よりは良くなっていると思いますが、被害者の方達が苦労しなければならないのが、変だと思いました。 とても辛さがあった。 ・たった一つの出来事で、残された家族の方々にもたくさんの辛いことが起こりかわいそうだと思った。 ・被害者がかわいそうと思いました。 ・犯罪被害者は、裁判では被害者が報われ、加害者にはそれなりの罰を与えるものと考えているはずなの に、とても裁判が被害者のためにあるとは思えない。 ・人の命はなににも変えられないもので、加害者によって亡くされた命は、何年たっても怒り悲しみを背負っ て生きていく事はつらい以外の言葉は見つからないと思います。 ・何も悪くない被害者がマスコミに追われたり、解剖させられるお金を自分たちが払わなければいけなかっ たり、すご〈不公平だと思った。 家族を事件で亡くすと気が動転して、いろんな発言などにより家族とうまく行かなくなり、家庭崩壊になってし まうこともあるという現実があることを知った。お互い辛いことだけど、我慢もしないといけないと思った。 ・とても辛く悲しく犯罪を憎んでいる、そういった現状だと思った。 ・加害者を尊重しすぎだと思う。 ·いつ犯罪の被害者になってしまうかなんてわからないし、防ぐ事なんてできません。まだ被害者になってい ない人も被害者と共に、法律という根本的な事から直して行く必要を感じました。 ·許せない·悲しいと思います。 ・自分自身が被害者ではない以上はすべての事をわかるわけではないけど、今回の話やビデオ等を見て 被害者の扱いがひどいことに驚いた。 ・犯罪被害に遭われた人や家族に対して周囲の人間や国が冷たくマスコミの対応も冷ややかだと思いまし た。 ・裁判は事件のことを公平に判断を下す場だけれど、それによって起こる二次被害などに無関心すぎると 思った。マスコミもやっぱり全てを報道しているわけではない。特に自分たちの非になるようなことは出さな いなと改めて思った。 ・全てが残酷で情のかけらも感じませんでした。 ・家族を奪われただけで深い悲しみに落とされているのに、メディアなどの心ない仕打ちを受けなければな らないのはおかしい。 ・昔はあまり良くなかったと思います。今はだんだん良くなってきていると思います。 ・国や法律はまだ被害者想いではなく、被害者が法律を変えていかなければならないという現実がとても悲 しく思った。

・不公平だと思う。

・被害を受けているのに司法に介入できないことがおかしい。

回答

・すご〈悲しいことだと思う。人の人生をこわす権利は誰にもないと思った。

・裁判をしても自分の思っている通りにならない。けど、自分ではどうしようもできない気持ちで毎日が暗くなる一方だと思った。

・犯罪被害者の気持ちをもっと考えなければならないと思った。

·犯罪被害者の現状について今回の講演会だけではまだまだわからないことが多くよくわからないです。

・テレビや新聞などでは、あんまり本当の事実が報道されず被害者に辛いのが現状だと思った。

・被害者軽視の現状では単純に考えても非常に厳しいものだと思う。

・どれだけ辛い思いをしても最後には裏切られるんだと分かった。

·怒りや悲しみがごっちゃになって八つ当たりに発展するということ。

(2)(1)に対して、どのようにすればよいと思いますか?

回答
・人の痛みが理解できる家庭教育や社会啓発が必要である。
・励ましの言葉も、慰めの言葉も難しいと思いました。裁判の進め方にも疑問を抱きました。
・ニュースとして大きく取り上げようとすれば、事件の事実紹介だけでは時間がもたず、犯罪加害者が不明
あるいは加害者へのコメントを取ることができないため、被害者側へのインタビューが増えてしまうマスコミ
の報道スタイルに問題があると感じる。報道の自由等の意見もあろうが、規制すべき。
・もっと被害者が納得できるように警察や裁判所が対応できれば良いと思う。
・もっと日本は罪に対する気持ちを直すということと、アメリカなどの刑をならうべきだと思う。
·マスコミやメディアにもうちょっとプライバシーを考えさせるべき。
・被害者にきびし〈加害者に優しいをやめる。
・日本のみんながもっと国に主張しなければならないと思う。
·知らない人たちに知ってもらうことが一番大事かなと思います。
・国がもっと国民の事を考え、対応しなければいけないと思いました。
・あまり思い詰めないようにする。 ・見体的にはわからないがファコミや裁判の両で考えれば国そのものがだめだと思った
・具体的にはわからないがマスコミや裁判の面で考えれば国そのものがだめだと思った。 ・マスコミを味てにする
・マスコミを味方にする。 ・裁判は、被害者の立場を考えたものにすべきだ。
「裁判は、被害者の立場を考えたものにすべきた。 ・毎日、その人の事を思い続け、愛する事が大切だと思いました。
・毎日、その人の争を忘い続け、愛する争が人切たと思いました。 ・裁判員の人がもっと被害者の立場に立たないといけないと思った。
・法を改正し歳や人数に関係な〈人を殺したら死刑にするべきだと思う。判決が甘いから裁判が減らないの
も現実だと思う。
・今後このような事が起こらないためにも、厳しく取り締まりをして犯罪を減らしてゆけばよいと思います。
・もっと被害者も裁判に加われればいいと思います。 ニュンネ (変更) クォーム かんがん ジュウロ のうまびの 国内の と 国内 しまの クォンマカ (カーマーナ) かいけ
・言い方が悪いかもしれませんが、私自身の命も私の周りの大切な人達の命もいつなくなってしまうかは、
わかりません。私なら悔いを残したくありません。一日一日を心残りのないように生きて行きたいと思いました。
/こ。 ・冷静に事実を受け入れられるよう、まずは落ち着くことです。 それから物事に対処すべきだと思います。
、どうすればいいかわからないけど、国が被害者の事をどうカバーするかが大きな問題だと思う。そのため
には、被害者でない人にも協力を得て、それについて主張していく必要があると思う。
・国や自治体が事件にもっと関心を持ち、犯罪被害者にもっと協力して事件解決の為に働きかけるべきだと
思う。
・私は二次被害に何か起こり何を改善すればわかりません。こういう事は当事者にしか分からないことが多 いと思うのです。
・マスコミは伝えることが仕事かもしれないが、相手の気持ちを考えて行動すべき。
・これからもいっそう良くなる様に地道な活動を続けて行く事が大切だと思います。
・自分がいつ被害者になるか分からない。だからこそ署名活動に自分から進んで参加しなければいけないと
思う。
・法を変える、国会で解決していくしかない。
・今後はもっと裁判に介入して真実をつきとめられ、しっかりした判決をしてもらいたい。
「国を変える必要がある。
・もっと憲法を変えるべき。
・講演会などでもっと広めていかなければならないと思います。
·もっと被害者の立場になった行動をする。 現地の日本コンキャロ物(い)ステスス
·現状の日本司法を根拠から変える。
·被害者がもうちょっと意見を言えるようにする。
・冷静にならなくては、話しもできない。まず冷静になること。

(3)今後も同様な講演会を開催した方がよいと思いますか?

回答 ・啓発活動は行政の怠慢を払拭するためにも必要であり、受講者の自己啓発のためにも有意義である。 ・辛いでしょうが、続けてほしい。 ・講演を繰り返すことは、時が経ちようやくできた瘡蓋を剥がし、辛い心情を穿り出す繰り返しであると思い ます。講演される犯罪被害者の方々の痛みをともなうものですが、多くの人が認知していくために続けてい ただきたい。 ・した方がいいと思う。このような悲惨な現実があるということをもっとたくさんの人が知った方がいいと思う。 ・できるだけ多くの所で講演会をやるべきだと思う。 ·するべきだと思う。被害者にはそうなれないが、被害者の気持ちや現状を知った上なら加害者にならない よう出来ると思うから。 ・今後もしていったほうが良いと思う。 ・テレビで事件をみているだけではなにもわからないし、実際に聞いてみると身近に思えたりするから。 ・私もですが、こういう事実を知らない人も多いと思うので、今後も講演会を開いた方がいいと思います。 ・被害者の家族の方々が辛くないのなら、したほうが良いと思います。 ·知らないことが多かったので、とてもいい講演だったと思う。 ・事件を忘れないためにも講演会を続けてほしいです。 ・今後このような事が起こらないようにするためにも講演会を開催したほうがよいと思います。 ・開催した方がいいと思います。ですが、伊藤さんは私たちには当事の苦しい思いや今も苦しい思いを伝え て頂く事で、つらくならないのかどうか不安になりました。 ・講演がどれほどの影響があるかはわからないか、やることに少しでも意味がある以上はやった方がいいと 思う。 ・少しでも多くの人が、今回のような講演を聴いていれば、もし犯罪被害の当事者になっても、落ち着いて行 動できると思います。 ・今回の講演会をこれから先も続けてもらって、私のように何も知らなかった人に教えてほしいです。知れば、 変わると思うからです。 ・講演を開催することによって、司法が変わっていければ良いと願います。 ・正直、知らないことだらけで、そういう人が多いと思います。講演会をして、より多くの人に知ってもらうため に開催してください。 ・開催した方が良いと思います。 ・はい。たくさんの人達に今の現状を知ってもらい、事件を起こりにくくしたり、起きても、そういう事を知って もらっていることで、自分には何が出来るのかわかるようになると思います。 ・今までの司法と、これからの司法の違いを知ることができるから、行った方がよい。 ・開催した方が、少しづつでも人の気持ちを動かせると思う。 ・実際に体験していることだし、命の大切さを知ってもらうために続けた方が良い。 ・再びしてほしいと思いました。 ・自分の知らないことがまだまだあるので、講演会を通して様々なことを知っていきたい。 ・裁判官、弁護士、政治家を対象に、金儲けにとらわれず、人間本心で聴いてもらう。 人形劇でやるよりも、 寸劇化またはドラマ化した方が良いかと思う。 ·被害者が受けてきたことが分かり易いので、これからも続けて下さい。 ・わかりやすく、よかった。人形劇だったので全体の状況はっきりしていて、とてもよかった。こういった講演 会は続けた方がいいと思う。

(4) 講演を受けて、疑問に思ったこと、わからなかったこと?

回答
・なぜ日本はこんな法律で、法治国家を名乗っているのかわからない。 ・裁判はどれくらいの期間行われるのかと思った。被害者の声はしっかり聞いてもらえるのかなと思った。
・国はなにを考えているのかまった〈わからなかったです。 ・日本の裁判の不公平さがわからなかった。
・なぜ日本の裁判はそんな理不尽なんですか?なぜ国は、それをかえようと思わないのか。 ・なぜ犯人は、勝手な気持ちで人の命を奪うのかわからない。
・加害者の待遇がよすぎると思う。 ・なぜ犯人は、嘘をつくのかと思いました。
 ・司法解剖など国民がおかしいと思う制度があることに意義を持ち、訴えているのに、なかなか変わってこなかったのか。私も同じ立場だったら冷静さを亡くし、憎しみの感情にとらわれてしまうと思います。まともな人間であれば、同じ気持ちになると思います。
・「犯給法」がどういったものなのか、今ひとつわからなかった。 ・お金のこと。
・被害者の方々の気持ちについては、まだまだよ〈わかっていない。
・人間という動物は何で金儲けと法律というものを重視するのだろう。人間の本心を何故公に出さないのだ ろう(裁判官、弁護士、マスコミ含め全員)

回答 ・伊藤さんの飾らない話し方と実際に何が必要かなど現実をお話いただき、有意義であった。 ・以前から、加害者に甘く、被害者には厳しい裁判だと思っておりましたが、講演を聞かせて頂き、びっくりし ました。 ・裁判で判決が出ても、賠償金を支払わない加害者に対して、さらに心労を重ねておられる被害者もあると 聞いたことがあります。加害者にも人権はあり、それを護っていかねばならないことは十分理解しますが、ま ず被害者へのケアが第一に優先されるべきと思います。加害者の権利が被害者のそれよりも必要以上に 手厚〈保護されている日本の現状には情けない思いがします。 ·今回の講義を聴いて、被害者の受けている気持ちや今でも改善されていないことがあると知った。これを 知っても今だに自分の事ではないと感じる。でも、いつ自分が被害者になるかわからないことが数多くあり、 自分が加害者になることもあるかと思うと少し怖いし、どうかならないようにと心から思った。だから、これか らの人生を変な道にいかないようにと心から思う。 ・マリオネットの劇はすごくよかったとおもいました。日本の現状を表現できていてわかりやすかったし、マス コミはしつこく聞いてくるし裁判ではもっと被害者のことを考えてほしいと思いました。日本の政治が変わって いってほしいです。 ・私の祖父の妹さんは、今で言うストーカーに殺されたそうです。私はまだ生まれていませんでいたし、祖父 から話でしか聞いた事はないので、今いち実感はわきませんでした。ですが伊藤さんの話を聞かせて頂い て、みなさんの無念さをよりリアルに感じることができました。有意義な時間をありがとうございました。 ・こういう事件がおこると、もうその人の人生はまったく違うものになると思うのでこういった事件が起きない のが一番いいと思う。しかし、もし起きたときなどはもっと被害者に良くしてもいいと思う。 ・今後、こんなことが起きないためにも犯罪を許さず厳しく取り締まり、犯罪がない安全で平和に生活できる ようにしてほしいなと思った。 ・僕も居眠りで事故した事があるが、この話を聞いて絶対してはいけないことをしてしまったと思う。人を巻き 込んだら、被害者に大変な思いをさせてしまうので、絶対にしてはいけないと思った。 ・私もお母さんから「車の運転は気いつけや!気いつけや!」って毎日毎日言われて、うるさいななんて 思っていたけど、事件が起こってからでは遅いし、親が私のことをすごく心配してくれているんだな、もっと親 の言うことを聞こうと思いました。伊藤さんこれからも頑張ってください。 ・こういう犯罪が起きている今、自分の身の回りでこのような事件が起きた時どう対応していけば良いかわ からない。やれる事は、冷静になって対応するしかないと思う。人の命はその人だけのものではないから命 というものを大切にしなくちゃいけないと思いました。 ・自分がもし犯罪被害者の立場になったと考えれば、冷静に判断することが出来ない気がする。犯罪のおこ らない世の中であってほしいと思う。 ・なぜ、被害者にはある程度の権利がないのかがわかりません。犯罪を犯した人がわるいのに、なぜ犯罪 者に弁護人がつけられるのか腹立たしいです。人を殺すような犯罪者は死んでしまえばいいと思います。そ れから最近多くなった飲酒運転の人達とかも裁判をせずに極刑にすればいいと思った。 ・被害者の家族の辛さがすご〈伝わってきた。 自分は、 もう車が乗れるようになったので事故などを起こさな. いようにしたいと思う。今回の講義で被害を受けた側のたくさんの辛い思いが少しでもなくなるようにしたい と思う。 ・今回の講義を聞いて思ったことは、昔の裁判所がここまで被害者にひどい態度をとっていた事にびっくりし ました。今の裁判所があるのは被害者の方達が頑張ってくれたおかげだという事にもびっくりしました。今も さらに裁判所をよくするために活動されていてすごいと思いました。伊藤さんの話を聞いているととても悲し みが伝わってきました。こんな悲しい思いをする人達いなくなることを願います。 ・おかしな日本だと思った。 悪意をもって人を殺してなんで生きられるねんと思ったし、 裁判をするのもおかし いと思う。なぜ被害者の人が苦労をしないといけないのかとも思いました。いつ自分にふりかかってくるかわ からないし、今日この話がきけてよかったと思いました。 ・犯罪に遭ったら犯罪にあった本人だけではなく被害者の家族や周りの人もが苦しんでいることがわかった。 ・テレビをみて、思っていたことだけど今日の講義で、やっぱりこの世の中は加害者にやさしいなと思いまし た。でも、今すぐにそれをどうにかする事はできないと思う。だから少しずつでも、良い世の中になるように努 力していくべきだと思いました。 ・テレビ等で殺人事件を見る度に、親と話をしている。加害者は常に罪が軽くなるようにしようとする。被害者 側の望む結果にならない。無期懲役、無期に社会に出られるのが許されていない懲役ですら年数をたてば、

社会に出られるのはおかしいし、人を殺しておいて普通に社会に戻れるのはあまりにもおかしいと思う。加 害者の命の一つごときで殺した相手は帰ってこないから、加害者の一生を被害者の遺族へ国へと従事する べきで社会復帰など許さないと常々思っています。 ・今まで漠然とこの国の法律はおかしいと思ってはいたけど、そのおかしさがやっと見えてきたような気がする。このままの日本では歪なまま進みいつか壊れてしまうような気がする。もしかしたら、もう壊れているのかもしれない。

・今回の講義で実際の被害にあわれた家族の人形劇を見たが、ものすご〈リアルにやられていて本当に被害者の家族の気持ちが、心に突き刺さるように感じられて、ものすご〈印象に残った。

・私は今回のお話しのことは新聞やニュースでしか見たことしかありませんでした。正直言って他人事として 考えていました。しかし、今回のお話を聞いて被害者の方の苦しみや日本の裁判制度の実際を知ることが できました。

·犯罪被害者の悲しみや辛さなどを心から感じることができました。国や司法を信じて生きてきた人達への 裏切りや失望といったものが伝わってきた気がします。良い講義を聴くことができて良かったです。ありがと うございました

・今回の講義を聞いてわかったことがあります。第三者の立場から見た事件は事件でしかなく、その後にも 起きる苦しみや悲しみは全くわからないということです。これは私が単に物事を深く考えないからなのかもし れないです。しかし、私のような人はもっといるだろうと思います。今回の講演を聞くことが出来て、私は考え を変えることができました。ありがとうございます。

・私は被害者になったことがありません。そんな私でも被害者の気持ちに同感するんです。お金のうつり方はわかりませんが、一人の人として全ての人に同じ気持ちを持ってもらえることを願いたいです。司法解剖で国の役に立つ情報が得られるかもしれません。けれど一人の人の体を、また傷つけてしまうということの重さも考えてもらいたいです。また、その家族は、どういう気持ちなのかわかっていないはずはないと思いますが・・・。私自身、制度がわからないんですが、この司法解剖というものは廃止してもらいたいです。被害者の傷つく気持ちを感じました。

・裁判は誰のために行うのでしょう。調書も見ることができず、見るにはお金を払わなければならないなんて、おかしなことばかりです。被害者家族にこそ知る権利があるのではないですか。一番悪いのは犯人です。しかし、日本の法律自体不審な点が多いと思いました。

・免許を取り、車を運転することが多くなりました。いつ自分も加害者になるかわかりません。より一層注意 して乗りたいと思います。

·今回、1時間半、話と人形劇を見させてもらい、色々新しいことを知った。だが、被害者遺族の気持ちを汲み取るには、あまりにも短かったと思います。遺族の人達は僕たちの考えているよりもっと色々な思いがあると思います。僕たちができることは、もっといっぱいの人にこのことを広める事だと思います。本当にありがとうございました。

・自分が事故にあった時も、だいぶもめた事があった。自分は死んだわけではないが、家族の悲しみは相当なものだと思います。法律は国民のためであるものと思っていましたが、実際は全く違い、驚きました。法律は国民のためにあるべきだと思います。なので変えられるのであれば、どんどん変えていくべきたと思いました。
した。今回知らないことだらけだったので、この講義はいい勉強になりました。また機会があれば話を聞きたいと思っています。

・以前にも個人的に被害者のお話を聞いたことがある。時間とともに消えていってしまっていた。次々と事件が起こる世の中では仕方のないことかもしれないけれど、何事にもポジティブに考えるようにしていけば、自分でも消化して行けると思う。

・事件や事故で裁判を行った時に、いかに被害者の意見が反映されるようになれば、より良い裁判・判決が 行えると思う。

・人の命は交換することも元に戻すこともできない。普段から気をつけるべきだと思った。

犯罪の被害に今まで遭ったことがないので、そうなった時のことはわからなかったが、一つ知識が増えました。これからも、またこのような講義を聞きたいと思いました。

自分の知っている人が死ぬということがまだ無いため、被害者の気持ちについてよくわからなかった。しかし、ニュースなどで放送されている事件などを見た時の考え方がおおきく変わると思います。
 伊藤さんの話にとても興味が出てきて、とても良い時間になりました。これからも活動がんばってください。応援しています。
 ・知らないことばっかりだったので、大変勉強になりました。事件についてはマスメディアを通してしか知ることがないので、遺族の現状を知ることが出来ました。
 明日は我が身になるかもしれないと思うと、加害者・被害者どちらになっても、つらい結果しかないと思います。

・被害者の立場に立つと、裁判官・弁護士・マスコミの金儲けだけを考えた行動・言動に愕然とした。この 講義で一つの案を考えてみた。裁判官や弁護士は職業として扱うのではなく、無報酬のボランティアにする。 裁判員制度の中でも無報酬にしてしまうこと。法律にとらわれない人間本来の心で裁判を行う。試してみる 価値はないだろうか。 「殺人に極刑は当たり前」猶予を認める必要なしである。

・自分も高校の時、連れ(年上の友人)が死にました。 一ヶ月前まで笑顔で話していた連れが次に会った時 は棺桶に入っていました。今でも時々夢に出てきます。 今、自分はその連れの年を過ごしています。 命を大 切にして、 生きていきたいと思っています。

・実際の事件、被害に遭われた家族の生の話を直に聞くことができて、話に重みがあった。